

東北大学法科大学院 教員紹介（兼任教員）

早川 眞一郎（はやかわ しんいちろう）	
現 職	
東京大学大学院総合文化研究科 教授	
学歴・学位	
昭和53年3月 東京大学法学部卒業	
主な経歴	
昭和50年10月 司法試験合格	
昭和53年4月 東京大学法学部助手	
昭和56年6月 同上退職	
昭和57年4月 司法修習生（～昭和59年4月まで）	
昭和59年4月 弁護士（第一東京弁護士会）	
昭和62年4月 関西大学法学部助教授	
平成4年4月 名古屋大学大学院国際開発研究科助教授	
平成10年4月 東北大学大学院法学研究科教授	
平成17年4月 東京大学大学院総合文化研究科教授（現在に至る）	
担当科目	
トランスナショナル情報法	
最近5年間の主要業績：	
「国際的な生殖補助医療と親子関係― 代理懐胎について」論究ジュリスト2号127-135頁（2012年）	
「私的調停の枠組構築と裁判所との連携に関して：研究者の立場から（シンポジウム『ハーグ条約の円滑な実施に向けて』（第3回））戸籍時報708号17-19頁（2014年）	
「交通事故被害者の自殺と損害賠償 ―― 判例の動向を中心に」交通事故紛争処理センター編『交通事故紛争処理の法理』352-373頁（ぎょうせい、2014年）	
「家族の国際化と法」ケース研究325号（2015年）	
「欧州人権条約の視点から見た子の奪い合い紛争 ―― ハーグ子奪取条約の『重大な危険の抗弁』をめぐる最近の一動向」星野英一先生追悼論文集『日本民法学の新たな時代』1013～1045頁（有斐閣、2015年）	
「国際生殖補助医療と法 ―― ハーグ国際私法会議のプロジェクトを中心に」法曹時報67巻11号1～47頁（2015年）	